



クローバー通信

第174号



令和3年9月10日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉

〒191-0054

日野市東平山 3-1-1

☎042-585-8061

【 残暑お見舞い申し上げます 】



新型コロナ感染者が、8月後半から急激に増え始め、中等症まで患者は自宅療養となっています。その患者の状態が悪化しても、受けてくれる病院がなくて、救急車は立ち往生し、コロナ以外の救急患者を搬送することもままならない状態で、救急要請がされても、搬送先がなくニュースになるようなケースも増えています。

9月は、例年通り、人生の秋におられるご利用者の皆さんに、これまでの人生でのご健闘をたたえる「敬老の日」の月でもあります。

当施設は、このような事態であっても、「敬老の日」のイベントは準備しております。

しかし今年も昨年同様に、新型コロナの流行が収束しておりませんので、外からお見えになるご家族やご来賓の方々、またイベントのお手伝いいただく演奏家、出店などのボランティアの方々には、例年通りの参加をお願いできません。そこで職員一同で、より創意工夫凝らして頑張る準備いたしますので、ご期待ください。

私の毎週日曜日の朝のご挨拶もこの流行が収束するまでは叶いませんので、早く、再開できることを願っております。

外を見渡しますと保育園児の園庭ひよこファームで、向日葵が少し咲いていましたが、蝉の声もほとんど聞こえなくなり、夏の風情も様変わりしてきました。

ふれあい農園では、全面の蕎麦が白い花を咲かせていましたが、それも取り変わり、これからジャガイモを作付けするようです。

自然はしっかり回っています。人間も自然に習い、知恵を絞り、当たり前前の生活に戻れるようにしたいものです。

これからもご利用者・ご家族の皆様のご協力いただきながら、新型コロナ対策をしっかり行って、収束まで頑張るまいります。

今月も、よろしくご協力をお願い申し上げます。

佐々木 榮一

